2012年度明治大学日本先史文化研究所企画展

下郷コレクション
と
霞ヶ浦の貝塚

2013年2月16日(土)～3月17日(日)

明治大学博物館 特別展示室

主　　催：明治大学日本先史文化研究所
共　　催：大阪歴史博物館　明治大学博物館　土浦市教育委員会　美浦村教育委員会
開館時間：10:00～17:00(入館は16:30まで)　会期中無休
アクセス　：JR御茶ノ水駅(中央・総武線)より徒歩5分／地下鉄御茶ノ水駅(丸ノ内線)より徒歩8分
地下鉄新御茶ノ水駅(千代田線)より徒歩8分／地下鉄神保町駅(新宿線・半蔵門線・三田線)より徒歩10分
お問合せ：明治大学博物館　〒101-8301東京都千代田区神田駿河台1-1
TEL 03-3296-4448　http://www.meiji.ac.jp/museum/

入場無料

背景：陸平安中台地全景【美浦村教育委員会】
余山貝塚出土銛(左上)釣針(右下 左から3本)／椎塚貝塚出土山形土偶(中)注口土器(左下・右上)ヤス(右下 右から2本)【大阪歴史博物館所蔵】
本展示および関連シンポジウムは文部科学省科学研究費補助金基盤研究B(課題番号24320153：研究代表者：阿部芳郎)の成果の一部である。

2012 年度 明治大学日本先史文化研究所 企画展

下郷コレクションと霞ヶ浦の貝塚

余山貝塚出土貝輪(大阪歴史博物館)

下郷コレクションは、明治時代に考古収集家として活躍した高島多米治の収集品からなっています。その大半は千葉県と茨城県の縄文時代貝塚の出土品であり、豊富な骨角器・貝輪などは1000点を超える他に類例をみない質と量を誇ります。展示では、下郷コレクションの紹介とともに研究所が推進中の土器製塩や貝輪の製作技術などの最新の研究成果も紹介します。

◆企画展関連シンポジウム◆

「下郷コレクションの由来と霞ヶ浦の貝塚」　:2 月 16 日(土)
「陸平と上高津～縄文の資源利用と社会～」　:2 月 17 日(日)

・16日:「下郷コレクションの由来と霞ヶ浦の貝塚」

午前	1	下郷コレクションの共同研究成果について	加藤俊吾
	2	椎塚・福田貝塚の資料群の特徴	須賀博子
昼休		企画展解説および関連図書の販売があります。	
午後	3	余山貝塚における貝輪生産	阿部芳郎
	4	貝輪のサイズとその意味	金田奈々
	5	余山貝塚の漁労活動	植月　学
	6	討議	

・17日:「陸平と上高津～縄文の資源利用と社会～」

午前	1	茨城における貝塚研究の歩み	鈴木正博
	2	貝塚遺跡の活用	黒澤春彦・中村哲也
	3	陸平貝塚の形成過程と特質	中村哲也
午後	4	上高津貝塚の形成過程と特質	石川　功
	5	霞ヶ浦の縄文製塩	関口　満
	6	土器製塩研究の展開と多様性	阿部芳郎
	7	討議	

日　　時:2 月 16・17 日(土・日)　10:00～17:00
会　　場:アカデミーコモン 9 階　309B 教室
備　　考:参加費無料・先着 100 名
　　※事前申込みではありません。当日会場までお越しください。
お問合せ:明治大学博物館
　　TEL 03-3296-4448

明治大学日本先史文化研究所